

メハジキ

【 *Leonurus japonicus* 】

科名 シソ科

属名 メハジキ属

薬効・用途

全草（益母草 ヤクモソウ）は、産後の止血、月経不順、めまい、腹痛に用いられる。「母の益になる薬草」という意味があり、中国では古くから婦人薬として利用されてきた。薬用養命酒にも配合されている。



・花期：7～9月

備考

二年草。日本、朝鮮半島、台湾、中国などに広く分布する。和名は子供が茎を短く切ってまぶたにはめ、目を開かせて遊んだことに由来する。別名は益母草（ヤクモソウ）。両性花。同属で欧州原産のヨウシュメハジキ *L. cardiaca* は婦人病・ヒステリーの治療薬として古代から用いられている。